

笑顔ある豊かな食卓に



ダイニングルーム設計の5ポイント

ポイント①

南側の陽の方位と相性が良い

人が集まる空間なので、明るく、風通しが良く、眺めの良い空間に＝上写真。北側の陰の方位にある場合は、インテリアカラーや照明で明るさを意識し、家族の団らんをイメージさせるオレンジなど、温かみのある色を使うのも良いでしょう。

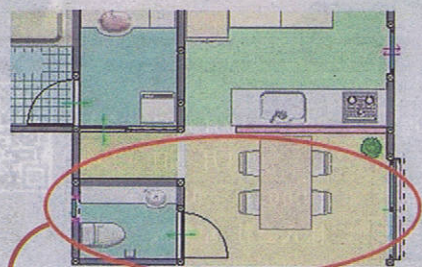
心を明るくし、楽しく幸せな気分を呼び込む色は、ダイニングルームと相性が良いといえます。赤、鮮やかなオレンジ、黄色などのビタミンカラーは、食欲を刺激してくれます。陽の気の強い色は、ランチョンマットや花などのテーブル小物で、ポイントに取り入れると良いでしょう。

ポイント②

トイレのドアは近過ぎない場所に

ダイニングルームの周辺環境で注意が必要なのは、トイレとの位置関係です。

トイレのドアがダイニングルームに面していると、食事中にドアを開けたときにトイレの中が目に入りますし、音にもダイニングルームに漏れ出てきます＝下イラスト。トイレのドアは、ダイニングルームから直接見ることができず、奥まった位置にある方が生活は快適です。



トイレのドアがダイニングルームに面している

資料提供/横川明子

ダイニングルームは、人体に例えると胃腸に相当し、家族の健康運をつかさどります。また、人が集まって食事をする場であることから、人間関係運にも関連します。

おいしく食せる空間

食物は、健康に最も大きな影響を及ぼしますが、何を食べるかということと同じくらい、どのように食べるかも重要です。食事は、その場の雰囲気も一緒に吸収しますので、ダイニングルームの室内環境は健康運と関連します。

健康・人間関係担うダイニング

湧き、笑顔で食事をすることをイメージしてインテリアを整えます。例えば、ダイニングテーブルの上は、赤みのある明るい照明にすると胃を活性化し、料理をおいしそうに見せる効果があります。

集う人をイメージして

来客を招き、一緒に食事を楽しむダイニングルームは、人間関係運もつかさどります。来てほしいお客さまの人数をイメージして、テーブルの大きさやいすの数を考え、部屋の広さを決めます。

また、テーブル周りは、立ったり座ったり、腰掛けている人の後ろを通る際に必要なスペースがあります。設計の時点で、家具のレイアウトもしっかりイメージしましょう。

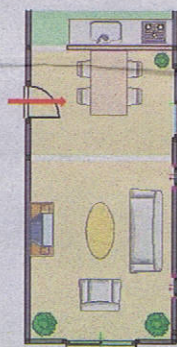
視線の向かう先はディスプレイも配慮し、花やグリーン、季節感のあるものを飾れば食事をする場が楽しく華やかになり、会話も弾むでしょう。

毎月第3週に掲載

ポイント③

ダイニングチェアの背後に扉がこないように

ダイニングチェアの背後に入り口がくると、座っている人が落ち着きません＝右イラスト。ドアとダイニングチェアが接触する原因にもなります。座る場所の背後は、できるだけ安心できるような環境に。



ポイント④

梁の下に座らない

天井に露出した梁(はり)がある場合、そこから気が落ちてきます。装飾で取り入れるケースがよくみられますが、その場合は、座る位置の真上に梁がこないようにします。

ポイント⑤

紙類が収納できるスペースを近くにつくる

どうしても書類や郵便物などがたまりやすいダイニングテーブル。紙類の収納スペースは、ダイニングルームから動線の良いところに確保します。ファイルの色や形に統一感があると、すっきりと見えます。ギュウギュウに詰め込まず、少しスペースに余裕があると、気の巡りも良くなります。



収納システム構築協力/根原典枝(合同会社暮らしかたらぼ)

琉球風水で心地よい家づくり

執筆/横川明子
(琉球風水スクール「アムリタ」主宰)

ダイニングルームは、これまで取り上げたりビング、玄関と同じく、陽の気と相性の良いパブリック空間です。ダイニングルームの風水についてお話しします。

集う人をイメージして

湧き、笑顔で食事をすることをイメージしてインテリアを整えます。例えば、ダイニングテーブルの上は、赤みのある明るい照明にすると胃を活性化し、料理をおいしそうに見せる効果があります。

よこかわ・あきこ / 東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師や新築住宅などの風水鑑定を行っている。☎098-943-6948(受付時間/月～金10時～16時、土日祝休み)。ホームページ <http://aromarine.jp> ブログ <http://ameblo.jp/marine-sapphire/>

